



埼玉民医連からはタミフルなども届けられる

全国から支援物資が続々届く！

3月11日の地震発生以後、全国の民医連の仲間から支援物資がたくさん届けられています。坂総合クリニック1階の支援物資置き場は、支援物資で足の踏み場もないくらいです。

本日12時30分、埼玉民医連からたくさんの中間から支援物資を積み込んだワンボックスカーが坂総合病院に到着しました。徳田敬博さん(診療放射線技師) <写真左>たちは、埼玉を午前6時に出発しました。県連内で呼びかけるなどして、たくさんの食料品や衣類、薬品などを運んできました。薬品ではインフルエンザの拡大が懸念されることから、薬局から抗インフルエンザ薬「タミフル」も持参してくれました。

支援物資は、宮城民医連内の事業所で、日常診療のために“必要物資”的求めに応じて配布していますが、避難所まわりの際などにも配布しています。全国の仲間からの多大な支援に感謝申し上げます。

避難所はとても寒く風邪をひかないか心配

3月18日午前、青森民医連医師熊谷真史、三重民医連医師宮田智仁、看護師近澤侑加、群馬民医連DMAT関千歳、長野民医連看護師古池智、北海道民医連看護師鈴木ひろみ、千葉民医連事務守田達夫、似里敬さんは、塩釜第3小学校などの避難所を訪れ健康相談を行いました。

一人暮らしのため避難所にきて1週間になる72歳の男性は、「水が少ないのが大変。昨夜から雪も降って避難所はとても寒く、風邪をひかないか心配」と話していました。「上気道症状を訴える方が多かったがインフルエンザではない様子。小児の薬を持っていないため坂病院を案内したが、帰り道小児科医院がやっていたので、周辺の医院の開業状況がわかれればよかったです。」(宮田医師)

塩釜医師会加盟の医院では、地震後に開業している場合、医院の前などに黄色い旗を掲げています。

事業所の状況

事業協

建物3階、4階の壁が剥離



建物の壁が剥がれおち、棚が倒れるなどした。薬品関係の破損はなし。多賀城市在住の2人の職員が床上浸水の被害にあうが人的な被害はなかった。

避難所まわり



症状を聞き洩らさず問診する関千歳さん(DMAT)

首相官邸から油提供の申し出 A重油14kl届く

災害対策本部に、首相官邸から油関連提供の申し出があり、どのような方法で支援できるか話し合いがもたれた結果、A重油14klが提供されました。これにより病院の暖房などが安定供給されることになります。引き続きガソリンや軽油の入荷について、調整中。



この食べ物で元気を出して！

医師国家試験 7人全員合格！

18日、夕方の全体打ち合わせ会議で、宮城で医師国家試験を受験した7人全員が合格したことが報告されました。

ひさい地の方たちへ、この食べ物で少しでも元気をだしてください。
(中島ゆい・いづみさんより)
千葉さわやか訪問の子どもさんより手書きメッセージ・イラストが届く

全国支援 3月18日午後5時現在 累計389人